

1 NTTならではの街づくり

NTTグループが地域の皆様のパートナーとして 成長し続ける街づくりを推進

NTTグループは中期経営戦略「Your Value Partner 2025」における柱として「街づくりの推進」、「地域社会・経済の活性化への貢献」を掲げている。NTTグループの街づくり事業の旗振り役となっているのがNTTアーバンソリューションズ株式会社（以下、NTTアーバンソリューションズ）だ。同社で自らも街づくり事業に携わる清水氏に聞き手となっていただき、街づくり推進本部長を務める池田康常務取締役はNTTグループならではの街づくりや、街づくり事業に対する思いを伺った。

NTTグループの街づくり事業 推進を担う会社として設立

清水 まず当社の設立の経緯についてお聞かせください。

池田 NTTグループで通信を担う各社も「ICTによる課題解決」を事業の柱にし、通信を活用した事業領域拡大をめざして取り組んでいます。一方でNTTグループが日本全国に保有する不動産の一部は有効活用されていませんでした。NTTグループにはICTとエネルギー技術を掛け合わせ社会課題を解決するケーパビリティがあります。このような背

景から、NTTグループは街づくりを事業の柱の一つにする方針です。

NTTアーバンソリューションズはこの街づくり事業の推進を担う会社として2019年7月に設立され、100%子会社となったNTT都市開発、NTTファシリティーズと共に事業を進めています。

地域の皆様の期待に応え 「街づくりのパートナー」に

清水 会社のミッションはどのようなものでしょうか。

池田 街づくりのオーナーである地域のステークホルダーの皆様と、



NTTアーバンソリューションズ株式会社
(左) 常務取締役
街づくり推進本部長 池田 康氏
(右) デジタルイノベーション推進部
主査 清水 美可子氏

NTTグループのコラボレーションをうまくコーディネートすることで、地域の皆様から街づくりのパートナーとして信頼していただけるようになることをめざしています（図1）。

大事なことはその土地に住み、働き、愛着を持つ人に受け入れてもらえることです。非常に難しいことですが、それだけにやりがいがあります。NTTグループの英知を結集してNTTというブランドへの期待にも応えたいという強い思いもあります。

ICT、エネルギー、環境の各技術を 複合的に提供できる強みを活かす

清水 期待に応える上で、どのような点が強みになりますか？

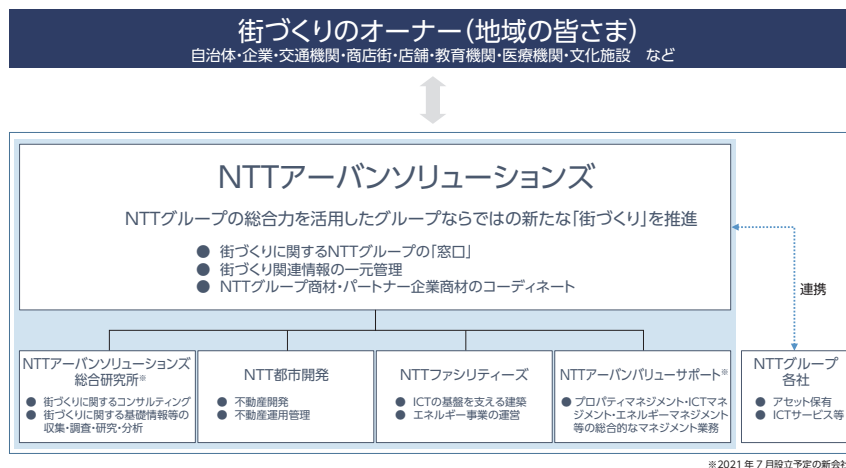


図1 NTTグループと各自治体・企業等とのコラボレーションを推進（7月以降の新体制）

池田 NTT都市開発の不動産、NTTファシリティーズのエネルギー／環境技術、そしてICTによって複合的な価値を提供できることが強みです。なかでもNTTに期待されているのはやはりICTだと思います。いかに人々の暮らしや、安心・安全な街づくりに役立つICTを提供するかが課題です。安心・安全についてはまさにNTTのDNAが活きる部分と考えています。

ただし作り手だけの考えでは限界があります。早い段階で提供し、フィードバックをもらいながら改善することを重視しています。我々の街づくりは作って終わりではなく、成長し続けることをめざしています。謙虚に改善していくことが重要です。

容易なことではありませんが、これらができて初めて「期待に応えられた」と言えると思っています。

ICTを意識させず使えるもの、使いたくなるものであることが重要

清水 その他、街づくりにおいてどのような点を重視していますか？

池田 街にはそれぞれ個性があります。ただ開発するのではなく、街が持つ歴史や文化、また地域の皆様が愛着を感じる部分が大事です。地域の皆様が街づくりの主人公であり、NTTアーバンソリューションズは裏から支えている、という存在になれば良いという考えです。

一方で自分自身もそこに住んでいる住民の一人であり、どこかの街を訪ねるにしても、やはり当事者の一人です。この点も忘れないようにしなければいけません。

また、お使いになる人にとっては日常使うものの中にどのようなICT技術が使われているかは重要ではあり

ません。誰でも使えるもの、使いたいものであること、住みやすい街の裏で実はICTが支えているということが重要です。日々改善すること、フレキシブルであることも重視しています。

さまざまなバックグラウンドや価値観を持つ人々の意見を参考に

清水 社内でフラットにモノを言えるような文化があると感じます。

池田 役職が高いほど街づくりの知見が豊富というわけではありません。また自分の価値観を押しつけるのではなく、その街に関わるさまざまなバックグラウンドや価値観を持つ人々の意見をきちんとお聞きする必要があります。その意味でダイバーシティも重視していますし、自由にモノを言える文化はとても大切だと思います。普段から社内ですべていなければ、住民の皆様の声を謙虚に聞くことは難しいでしょう。

私自身もこれまでに籍を置いた他のグループ会社とはまた違う文化があり、面白いと感じています。

2021年度の重点施策

清水 今年度特に注力している施策についてお聞かせください。



<https://www.ntt-us.com/waga-machi-mirai/index.html>

図2 コンセプト紹介サイト（「わがまち未来 NTT」で検索）

池田 街づくりは時間がかかる営みです。中期ビジョンにおける「2025年度に収益規模6,000億円をめざす」という目標も重視していますが、小さくても良いので目に見える形で早く成果を出していくことも必要です。

清水 京都市立清水小学校跡地に開業した“ザ・ホテル青龍 京都清水”や、旧京都中央電話局跡地の“新風館”のように「伝統」と「革新」の融合のような街づくりも設立後早々に発表されていますよね。

池田 NTTならではの街づくりをより進めやすい体制作りにも注力しています。2021年4月1日の組織改編では、NTTグループ全体のCRE戦略・調整機能を持株会社より移管、既存の街づくり推進組織等と統合して、新たに「街づくり推進本部」を設置しました。

さらには完成後の街を支えるエリアマネジメント事業の強化、街づくりシンクタンク機能の整備を目的にそれぞれ会社設立に向けた準備も進めています。また、地方の案件に迅速に対応できる体制作りについても検討しています。このほかにも必要なことがあれば、どんどん走りながらも変えていく考えです。

清水 本日はありがとうございます。「わがまち未来」のWebサイトを活用して、街づくりのコンセプトをわかりやすく紹介し、我々の取り組みをより多くの方に知っていただけるようにと準備を進めていきます（図2）。